目次

第一章　貞享騒動のあらまし
事件の概要　9
第二章　義民一揆となった貞享騒動
騒動なのか一揆なのか、なぜ義民一揆なのか　13
明治の世に輝く加助の面影　20
期待される村役人像として　23
大町組佐野村発端騒動記の意味　27
確かな史料を持つ貞享騒動の訴訟記録　28
第三章　騒動の発端と始まり
訴訟の発端　32
騒動の始まり―訴訟の傘連判状　34
第四章　百姓一揆の作法
1　傘連判状（車回状）　40
2　一揆結集の作法　40
3　一揆出立のユニホーム姿　41
4　一揆不参の罰　42

5　手出し致しまじく　44

第五章　新法の不当性を訴えた五か条訴状の提出

五か条訴状の提出先　44

新法の不当性を訴えた訴状　48

五か条の訴状を吟味する　51

1　籾踏み磨きののぎ取り訴訟　51

2　踏み磨き令の復活と途方もない摺歩上げ　53

3　摺歩三斗四・五升の訴訟　55

4　大豆金納値段の訴訟　59

5　払米となった江戸廻米訴訟　59

6　奉公人小人の余内金　62

一揆正当性の論拠　64

法的な根拠を確かめる　66

第六章　第一次回答書

回答なきまま打ちこわし始まる　68

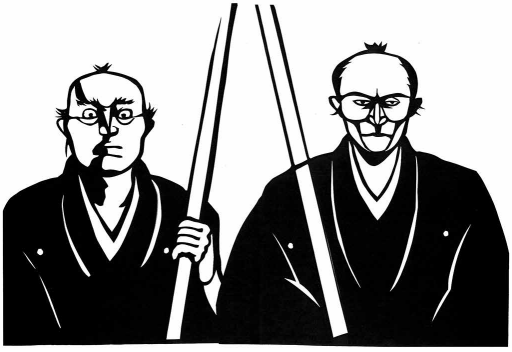
第一次回答書　69

最下役人への責任転嫁の解決策　72

人々再び参集をはじめる　75

第七章　第二次回答書

第二次回答書　78
藩はなぜ直訴を恐れたか　81
城下群衆の村人たちの日々　82
第八章　藩の巻き返しとすり替えられた証文
豹変する家老中と藩役人たち　83
ひたすら江戸からの回答を待つ家老たち　87
首尾宜しくと悦びを語る藩主忠直　88
百姓ども不届き頭領たるもの仕置きしかるべしとする幕府老中　90
藩主忠直の書状―騒動の鎮め策「満足」　92
第九章　収納の開始
収納の指示と新しい定め　93
年貢収納の開始と極秘調査の指示　96
収納に見る御救いの宛挽き　97
第十章　磔・獄門の御仕置き
御仕置きの開始　99
磔八人の刑場　104
二十人の獄門　107
財産没収と試し切りの附加刑　109
胎児にまでおよんだ御仕置き　112



第十一章　騒動の評価を問う
「五か条の願い一か条も許さず」とは　117
藩政の転換　117
家中と村方への御褒美　120
起こるべくして起こった訴訟事件だった　122
騒動後の藩主の申渡書　127
本騒動の性格と意義　129
第十二章　騒動にまつわる様々な伝承
各地で刻まれた義民伝承　133
怨霊伝承と城の傾き　136
騒動の物語化　137
自由民権運動における義民の復権と物語化　140
仏事伝承　142
鈴木伊織伝承　142
第十三章　加助神社の造営とその後の顕彰活動
二百回忌と加助神社の造営　146
新聞小説や映画になった義民物語　149
義民人骨の発掘と義民塚　152
加助神社から貞享義民社へ　154

貞享義民三百年祭　157
貞享義民記念館　160
第十四章　義民の心を受け継ぐ私たち
全国義民サミットの開催　165
貞享義民記念館の管理が安曇野市へ　166
演劇や朗読劇として再生された義民物語　167
全国義民顕彰集会の開催　169
「加助さま」を慕う地域のかかわり　170
本書を閉じるにあたって　172

資料
1　水野家松本領七万石領地の組村支配の仕組み
2　貞享騒動の参加・不参加村名一覧表
3　貞享義民顕彰の経過
4　貞享義民の生きた時代（年表）
5　長尾組歴代の組手代・大庄屋一覧

参考文献一覧

【目次切り絵解説】
・熊野神社での密議
・郡奉行宛訴状を提出する農民
・「城下より立ち去れ！」と伝える役人
・刑場に轟く「二斗五升！」の叫び
・「加助様！」と手を合わせる民衆
（貞享義民記念館シアター上映の「貞享義民物語」の場面より）